

長野県飯山市における モデル事業(市町村管理構想)の取組概要

- R6年度より、長野県飯山市のモデル事業の取組を開始。R7年度中の市管理構想策定を目指している。
- 令和5年度改定の国土利用計画では、国際化時代の土地利用や高齢化率の高い地域、クマなどによる獣害等、市土の利用・管理に係る課題とその対応方針が示されている。そうした国際化・深刻化する課題への対応方針等を具体化する糸口を管理構想で模索し、管理構想図で市土管理の見える化を図ることで、住み続けられるまちづくりの気運を醸す。

■ 対象地域：長野県飯山市

■ 市の概要：

- ・ 人口等：人口 2.0万人、0.7万世帯、高齢化率38.2%、年少人口率10.3%
(R2年国勢調査)
- ・ 面積：202.43km² (令和6年全国都道府県市区町村別面積調 (7月1日時点))
- ・ 地形等：飯山市は長野県北部、新潟県と接する位置にある。千曲川沿いに広がる飯山盆地を中心に、東西を山地に挟まれた南北に長い地形であり、冬季は日本海からの季節風の影響で多くの降雪があり、日本でも有数の豪雪地帯となっている。昭和29年に旧飯山町を中心に1町7村が合併し飯山市が誕生、その後昭和31年に近隣2村を編入し、現在の市域となっている。平成27年、北陸新幹線飯山駅が開業した。



- 検討体制：まちづくり課が主担当となって、庁内プロジェクトチームで検討を進める。なお、喫緊の課題を有する斑尾高原地区及び富倉地区では、地元や隣接する妙高市とも連携しながら取組を進める。

【モデル事業の取組の経過】

- ・ R6.10月 ● 庁内プロジェクトチーム発足
- ・ R6.10月 ● オープンデータ及び市保有データの収集、現地調査
- ・ R6.11月 (予定) ● 現地ヒアリング
- ・ R7.2月 (予定) ● 庁内ワークショップ